

雄勝地区

1月24日(日)、名振地区で、火伏せのまつり「おめつき」が行われました。大漁(おめで)のしとも言われている「丁印し(ちやういんし)」を先頭に山車(だし)が地区内を練り歩き、4カ所の宿で即興劇が行われました。これは、時の社会問題などを題材にしていますが、子どもが授かる(言)われている道祖神が登場すると、場内には大きな笑い声が沸き起こりました。



笑いの原点(1)はどこにあり?!

桃生地区

1月24日(日)、桃生公民館文化ホールを会場に、「第33回桃生地区芸能祭」が開催されました。当日は、舞踊や歌、楽器演奏、郷土芸能など28演目に約230人が参加し、日ごころの練習の成果を精一杯披露しました。すばらしい演技への拍手喝采で、会場内は出演者と観客が一体となり、熱意あふれる芸能祭となりました。



日ごころの練習の成果を精一杯披露

河北地区



鬼はぐそと!

福はぐうち!

2月3日(水)節分の日、飯野川保育所で、豆まきが行われました。当日、先生から「今日は、節分です。鬼が入ってきたらみんな退治しよう!」とお話があり、その後、楽しく歌や踊りで遊んでいるところに突然、青鬼たちが入ってきました。びっくりした子ども達で教室内は騒然となりましたが、先生が「鬼はぐそと、福はぐうち」と豆をまくと一緒に「豆をまき、鬼たちは、はたはと退散していきました。鬼がいなくなり笑顔になった子ども達は、まいた豆を年の数以上においしそうに食べていました。」

河南地区



かわいい鬼さん 大集合

1月28日(木)、河南子育て支援センターパプラで、節分を前に鬼のお面づくりが行われました。参加した子ども達は、母親らに手伝ってもらいながらシルやクレヨンを上手に使って、それぞれ世界に一つだけの色鮮やかな鬼のお面を作りました。完成後、お面を着けた小鬼たちは豆まきごっこを楽しみ、ひと足早い節分気分を味わっていました。大切に持ち帰られたお面は各家庭でも大活躍したことでしよう。



このコーナーでは、催し物やまちのできごと、地域の情報などを紹介します。

牡鹿地区

1月15日(金)牡鹿公民館において、牡鹿地区の中学二年生27人の「立志式」が行われました。

牡鹿地区の3つの中学校は、来年度統合し、「牡鹿中学校」となるため、各中学校としては、最後の立志式となります。

各中学校の代表は、新しい環境での不安や期待を抱えながらも、自分の将来の夢や目標に向け、新たな志を立て、これからの人生を歩んでいくと力強い抱負を発表しました。

その後、昨年度統合した北上中学校の佐藤泰孝校長先生が「中学校の閉校、統合に向けて」と題した講話を行い、皆、真剣な表情で聴いていました。

大人への第一歩 立志式



北上地区



文化財を火災から守ろう

1月24日(日)、寒空のもと、小滝地区の「山神社」で文化財防ぎょ訓練が行われました。

消防団員が中心となつての火災防ぎょ訓練では、きびきびとした行動の中、本番さながらの放水が行われました。終了後、地区の子どもからお年寄りまでが参加し、消火訓練、通報訓練、心肺蘇生法やAED(自動体外式除細動器)を使用した救命処置の訓練が行われました。

高い確率で宮城県沖地震の発生が予測される中、迅速、的確な応急対応ができるよう連携体制を確認しました。



石巻地区

2月8日(月)、市長室へ、ごも「クラブ」のメンバーから、市に車いすが寄贈され受領式が行われました。

寄贈してくれたのは、「スベシャルBoo & Girls エコクラブ」「スベシャルBoo & Girls エコクラブ」の皆さんで、車いすは、資源回収や環境保全活動の一環で得た活動応援金などを蓄えて購入したものです。

両クラブのリーダー(兼)子政慶くん(石巻高校2年)と佐藤凌くん(門脇中学校3年)より「新庁舎でぜひ活用してください」と市長に手渡されました。クラブの皆さん、ごもありがとうございます。

ありがとうございます！ 車いすが寄贈されました



ふしぎ発見！

磁石の秘密

1月30日(土)、渡波小学校講堂で、渡波小学校区「ロボスクール推進モデル実践事業」が行われました。

この日は、昨年の9月から開催された後期日程の最終日(10回目)で、12人の児童と3人の保護者が参加し、磁石の秘密などについて受講しました。

磁石が私たちの生活と関係の深い「お札」の中に含まれていることや、リニアモーターカーの原理にもなっていることなど実験を交えながら学んだ子ども達は、磁石の力に引き寄せられるように、目の前で起こる不思議な現象に「ぎげ」していました。